

新丸山ダムの建設に係る記載内容の変更対比表

平成 20 年度策定木曽川水系河川整備計画	今回変更
<p data-bbox="489 730 1311 802">木曽川水系河川整備計画</p> <p data-bbox="691 1572 1101 1755">平成 2 0 年 3 月 中 部 地 方 整 備 局</p>	<p data-bbox="1703 730 2525 802">木曽川水系河川整備計画</p> <p data-bbox="1893 1572 2338 1801">平成 2 0 年 3 月 (平成 2 7 年 1 月変更) 中 部 地 方 整 備 局</p>

(2) 横断工作物の改築

河道整備流量を計画高水位以下で安全に流下させるため、洪水を安全に流下させる観点から著しく治水上の支障となる橋梁や堰については、治水効果や上下流のバランスを総合的に勘案しつつ、施設管理者と連携・調整し優先的に改築・撤去を行う。

また、河道掘削に伴い必要となる床止めの改築、堤防整備に伴い必要となる取水暗渠の改築を実施する。

表-3.1.6 水位低下（横断工作物の改築）に係る施行の場所（長良川）

河川名		管理者	施行の場所		整備内容	機能の概要
長良川	左右岸	国土交通省	桑名市長島町十日外面	5.9k 付近	伊勢大橋の改築	改築等による流下能力向上
伊自良川	左右岸	岐阜県	岐阜市旦島	2.6k 付近	尻毛橋の改築	
	左右岸	名古屋鉄道	岐阜市旦島	2.8k 付近	古川橋の撤去	

※現時点における主な施行の場所等を示したものであり、今後の河川の状態等により、必要に応じて変更することがある。

表-3.1.7 水位低下（横断工作物の改築）に係る施行の場所（揖斐川）

河川名		管理者	施行の場所		整備内容	機能の概要
揖斐川	左右岸	国土交通省	桑名市大字福島	5.9k 付近	伊勢大橋の改築	改築等による流下能力向上
牧田川	左右岸	国土交通省	大垣市上石津町乙坂	14.7k 付近	第 20 号床固の改築	
		国土交通省	大垣市上石津町牧田	15.7k 付近	第 23 号床固の改築	
杭瀬川	左右岸	岐阜県	大垣市久瀬川町	8.8k 付近	塩田橋の改築	
根尾川	左右岸	国土交通省	本巣市海老	4.7k 付近	第 2 床固の改築	
		政田井水土地改良区	本巣市海老	4.7k 付近	政田用水伏越の改築	
		席田井水土地改良区	本巣市山口	11.9k 付近	山口頭首工の改築	
肱江川	左右岸	三重県	桑名市多度町中須	1.0k 付近	中須橋の改築	
		桑名市	桑名市多度町中須	1.4k 付近	中須取水暗渠の改築	

※現時点における主な施行の場所等を示したものであり、今後の河川の状態等により、必要に応じて変更することがある。

(3) 洪水調節機能の強化

① 新丸山ダムの建設

木曾川上流の御嵩町小和沢（左岸）・八百津町八百津（右岸）地先に、既設丸山ダム(重力式コンクリートダム)を嵩上げすることにより、新たに66,830千m³の容量を確保し、洪水調節、既得取水の安定化及び河川環境の保全等のための流水の確保、発電の目的を有する多目的ダムとして新丸山ダムを建設する。

表-3.1.8 新丸山ダムの概要

河川名	施行の場所(建設位置)	機能の概要等				目的
		型式	ダムの規模(堤高)(m)	総貯水容量(千m ³)	湛水面積(km ²)	
木曾川	左岸:御嵩町小和沢 右岸:八百津町八百津	重力式 コンクリートダム	122.5	146,350	3.87	洪水調節 不特定補給

(2) 横断工作物の改築

河道整備流量を計画高水位以下で安全に流下させるため、洪水を安全に流下させる観点から著しく治水上の支障となる橋梁や堰については、治水効果や上下流のバランスを総合的に勘案しつつ、施設管理者と連携・調整し優先的に改築・撤去を行う。

また、河道掘削に伴い必要となる床止めの改築、堤防整備に伴い必要となる取水暗渠の改築を実施する。

表-3.1.6 水位低下（横断工作物の改築）に係る施行の場所（長良川）

河川名		管理者	施行の場所		整備内容	機能の概要
長良川	左右岸	国土交通省	桑名市長島町十日外面	5.9k 付近	伊勢大橋の改築	改築等による流下能力向上
伊自良川	左右岸	岐阜県	岐阜市旦島	2.6k 付近	尻毛橋の改築	

※現時点における主な施行の場所等を示したものであり、今後の河川の状態等により、必要に応じて変更することがある。

表-3.1.7 水位低下（横断工作物の改築）に係る施行の場所（揖斐川）

河川名		管理者	施行の場所		整備内容	機能の概要
揖斐川	左右岸	国土交通省	桑名市大字福島	5.9k 付近	伊勢大橋の改築	改築等による流下能力向上
牧田川	左右岸	国土交通省	大垣市上石津町乙坂	14.7k 付近	第 20 号床固の改築	
		国土交通省	大垣市上石津町牧田	15.7k 付近	第 23 号床固の改築	
杭瀬川	左右岸	岐阜県	大垣市久瀬川町	8.8k 付近	塩田橋の改築	
根尾川	左右岸	国土交通省	本巣市海老	4.7k 付近	第 2 床固の改築	
		政田井水土地改良区	本巣市海老	4.7k 付近	政田用水伏越の改築	
		席田井水土地改良区	本巣市山口	11.9k 付近	山口頭首工の改築	
肱江川	左右岸	三重県	桑名市多度町中須	1.0k 付近	中須橋の改築	
		桑名市	桑名市多度町中須	1.4k 付近	中須取水暗渠の改築	

※現時点における主な施行の場所等を示したものであり、今後の河川の状態等により、必要に応じて変更することがある。

(3) 洪水調節機能の強化

① 新丸山ダムの建設

木曾川上流の御嵩町小和沢（左岸）・八百津町八百津（右岸）地先に、既設丸山ダム(重力式コンクリートダム)を嵩上げすることにより、新たに51,830千m³の容量を確保し、洪水調節、既得取水の安定化及び河川環境の保全等のための流水の確保、発電の目的を有する多目的ダムとして新丸山ダムを建設する。

表-3.1.8 新丸山ダムの概要

河川名	施行の場所(建設位置)	機能の概要等				目的
		型式	ダムの規模(堤高)(m)	総貯水容量(千m ³)	湛水面積(km ²)	
木曾川	左岸:御嵩町小和沢 右岸:八百津町八百津	重力式 コンクリートダム	118.4	131,350	3.68	洪水調節 不特定補給

平成 20 年度策定木曾川水系河川整備計画	今回変更
<p>第 2 項 河川水の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関する事項</p> <p>1 河川水の適正な利用</p> <p>(1) 既存施設の有効利用及び関係機関と連携した水利用の合理化 年間降水量の減少傾向と、その変動幅の拡大傾向が続いていることも鑑み、河川水の適正な利用を図るため、用途間の転用やため池の保全等の既存施設の有効利用を促進させるとともに、関係機関と連携し、生活排水や工業排水の再生利用などを促進させ、水利用の合理化を図る。これにより水供給の安定性を向上する。</p> <p>(2) 取水及び貯留制限流量の維持 水資源開発にあたって河川環境の保全等のために設定され、現在の利水運用に適用している取水及び貯留制限流量は、木曾川では今渡地点 100 m³/s、木曾成戸地点 50 m³/s、長良川では長良川河口堰における魚道放流量 11 m³/s (2月～6月)、4 m³/s (7月～1月)、揖斐川では万石地点 30 m³/s 等であり、これを維持する。</p> <p>(3) 適正な水利権許認可 河川水の適正な利用を図るため、許可水利権については、水利権の更新時に行う水利審査において、使用水量の実態や給水人口の動向、受益面積や営農形態等の変化を踏まえて、水利権の見直しを適正に行うとともに、慣行水利権については、取水実態の把握に努め、取水施設の改築等各種事業実施の機会を捉えるなど、積極的に許可水利権化を進める。</p> <p>2 流水の正常な機能の維持</p> <p>(1) 河川環境の改善 河川環境の改善のため、新丸山ダムの建設を行うとともに、異常渇水時においても河川環境の改善を図るため、徳山ダムにより確保された渇水対策容量の水を導水するための木曾川水系連絡導水路を整備するとともに水利用の合理化を推進し、維持流量の一部を回復する。</p> <p>① 新丸山ダムの建設 既設丸山ダム（重力式コンクリートダム）を嵩上げすることにより、新たに66,830千m³の容量を確保し、洪水調節、既得取水の安定化及び河川環境の保全等のための流水の確保、発電の目的を有する多目的ダムとして新丸山ダムを建設する。 新丸山ダムは、不特定容量として 15,000 千m³を確保し、1/10 規模の渇水時においても、既設阿木川ダム及び味噌川ダムの不特定補給と合わせて、既得取水の安定化を図るとともに、木曾成戸地点において河川環境の保全等のために必要な流量の一部である 40m³/sを確保する。</p>	<p>第 2 項 河川水の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関する事項</p> <p>1 河川水の適正な利用</p> <p>(1) 既存施設の有効利用及び関係機関と連携した水利用の合理化 年間降水量の減少傾向と、その変動幅の^{3:6}拡大傾向が続いていることも鑑み、河川水の適正な利用を図るため、用途間の転用やため池の保全等の既存施設の有効利用を促進させるとともに、関係機関と連携し、生活排水や工業排水の再生利用などを促進させ、水利用の合理化を図る。これにより水供給の安定性を向上する。</p> <p>(2) 取水及び貯留制限流量の維持 水資源開発にあたって河川環境の保全等のために設定され、現在の利水運用に適用している取水及び貯留制限流量は、木曾川では今渡地点 100 m³/s、木曾成戸地点 50 m³/s、長良川では長良川河口堰における魚道放流量 11 m³/s (2月～6月)、4 m³/s (7月～1月)、揖斐川では万石地点 30 m³/s 等であり、これを維持する。</p> <p>(3) 適正な水利権許認可 河川水の適正な利用を図るため、許可水利権については、水利権の更新時に行う水利審査において、使用水量の実態や給水人口の動向、受益面積や営農形態等の変化を踏まえて、水利権の見直しを適正に行うとともに、慣行水利権については、取水実態の把握に努め、取水施設の改築等各種事業実施の機会を捉えるなど、積極的に許可水利権化を進める。</p> <p>2 流水の正常な機能の維持</p> <p>(1) 河川環境の改善 河川環境の改善のため、新丸山ダムの建設を行うとともに、異常渇水時においても河川環境の改善を図るため、徳山ダムにより確保された渇水対策容量の水を導水するための木曾川水系連絡導水路を整備するとともに水利用の合理化を推進し、維持流量の一部を回復する。</p> <p>① 新丸山ダムの建設 既設丸山ダム（重力式コンクリートダム）を嵩上げすることにより、新たに51,830千m³の容量を確保し、洪水調節、既得取水の安定化及び河川環境の保全等のための流水の確保、発電の目的を有する多目的ダムとして新丸山ダムを建設する。 新丸山ダムは、不特定容量として 15,000 千m³を確保し、1/10 規模の渇水時においても、既設阿木川ダム及び味噌川ダムの不特定補給と合わせて、既得取水の安定化を図るとともに、木曾成戸地点において河川環境の保全等のために必要な流量の一部である 40m³/sを確保する。</p>

表-3.1.32 新丸山ダムの概要

河川名	施行の場所(建設位置)	機能の概要等				
		型式	ダムの規模(堤高)(m)	総貯水容量(千m³)	湛水面積(km²)	目的
木曾川	左岸:御嵩町小和沢 右岸:八百津町八百津	重力式 コンクリートダム	122.5	146,350	3.87	洪水調節 不特定補給

② 木曾川水系連絡導水路の建設

揖斐川と長良川、木曾川を繋ぐ木曾川水系連絡導水路を整備し、徳山ダムに確保された渇水対策容量 53,000 千m³のうち 40,000 千m³の水の一部は長良川を経由して木曾川に導水することにより、異常渇水時〔平成 6 年(1994)渇水相当〕においても、木曾成戸地点において河川環境の保全のために必要な流量の一部である 40m³/sを確保するとともに、徳山ダムにより開発した愛知県及び名古屋市の都市用水最大 4.0m³/sを導水する。

また、木曾川水系連絡導水路を上流分割ルートで整備することにより、長良川の忠節地点において、1/10 規模の渇水時に 20 m³/s、異常渇水時〔平成 6 年(1994)渇水相当〕にも 11 m³/sを確保する。事業実施にあたっては、学識者の意見を聞いて、環境への影響の低減に努める。

表-3.1.33 木曾川水系連絡導水路の概要

施設名	河川名	施行の場所(位置)	機能の概要等				
			導水量	形式	水路断面	導水路長	目的
木曾川水系 連絡導水路	揖斐川 長良川 木曾川	取水口(揖斐川) : 西平ダム付近 放水口(長良川) : 岐阜地区	最大 20m³/s	トンネル※1	標準馬蹄形 2r=4.0m※2	約 29km	異常渇水時の 緊急水の 補給
		放水口(木曾川) : 坂祝地区	最大 15.3m³/s	トンネル※1	円形 2r=3.8m※2	約 14km	
		取水・放水口 (長良川・木曾川) : 背割堤地区	最大 4.7m³/s	パイプライン	—	約 1km	都市用水の 補給

※1: 河川の横過等で圧力トンネルとなる区間もある。
 ※2: トンネル形式により断面形状が異なる区間もある。
 ※: 現時点における概略値であり、今後の詳細設計により変更することがある。

③ 水利用の合理化

取水制限流量による制約がない既得用水については、水道用水、農業用水等における取水の実態、用水の多面的機能、地理的・構造的条件等に配慮しながら、給水人口、受益面積、営農形態等の変化を踏まえて水需要を精査確認し、水利権の適正な見直しを行うとともに、水利秩序に配慮しつつ総取水量表示等の水管理について関係機関と調整協議し、水利用の合理化を進める。

表-3.1.32 新丸山ダムの概要

河川名	施行の場所(建設位置)	機能の概要等				
		型式	ダムの規模(堤高)(m)	総貯水容量(千m³)	湛水面積(km²)	目的
木曾川	左岸:御嵩町小和沢 右岸:八百津町八百津	重力式 コンクリートダム	118.4	131,350	3.68	洪水調節 不特定補給

② 木曾川水系連絡導水路の建設

揖斐川と長良川、木曾川を繋ぐ木曾川水系連絡導水路を整備し、徳山ダムに確保された渇水対策容量 53,000 千m³のうち 40,000 千m³の水の一部は長良川を経由して木曾川に導水することにより、異常渇水時〔平成 6 年(1994)渇水相当〕においても、木曾成戸地点において河川環境の保全のために必要な流量の一部である 40m³/sを確保するとともに、徳山ダムにより開発した愛知県及び名古屋市の都市用水最大 4.0m³/sを導水する。

また、木曾川水系連絡導水路を上流分割ルートで整備することにより、長良川の忠節地点において、1/10 規模の渇水時に 20 m³/s、異常渇水時〔平成 6 年(1994)渇水相当〕にも 11 m³/sを確保する。事業実施にあたっては、学識者の意見を聞いて、環境への影響の低減に努める。

表-3.1.33 木曾川水系連絡導水路の概要

施設名	河川名	施行の場所(位置)	機能の概要等				
			導水量	形式	水路断面	導水路長	目的
木曾川水系 連絡導水路	揖斐川 長良川 木曾川	取水口(揖斐川) : 西平ダム付近 放水口(長良川) : 岐阜地区	最大 20m³/s	トンネル※1	標準馬蹄形 2r=4.0m※2	約 29km	異常渇水時の 緊急水の 補給
		放水口(木曾川) : 坂祝地区	最大 15.3m³/s	トンネル※1	円形 2r=3.8m※2	約 14km	
		取水・放水口 (長良川・木曾川) : 背割堤地区	最大 4.7m³/s	パイプライン	—	約 1km	都市用水の 補給

※1: 河川の横過等で圧力トンネルとなる区間もある。
 ※2: トンネル形式により断面形状が異なる区間もある。
 ※: 現時点における概略値であり、今後の詳細設計により変更することがある。

③ 水利用の合理化

取水制限流量による制約がない既得用水については、水道用水、農業用水等における取水の実態、用水の多面的機能、地理的・構造的条件等に配慮しながら、給水人口、受益面積、営農形態等の変化を踏まえて水需要を精査確認し、水利権の適正な見直しを行うとともに、水利秩序に配慮しつつ総取水量表示等の水管理について関係機関と調整協議し、水利用の合理化を進める。